取扱説明書

Bearmax

パーソナル脱水機【ダッスィー】

商品型番：SD-3000
エス・ディー

Dassuie

この度は「パーソナル脱水機【ダッスィー】|SD-3000」を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 株式会社クマザキエイム

■目次

目次 …… 2
安全のために …… 2
付属品を確かめる …… 3
各部の名称 …… 3
主な仕様 …… 3
ご使用前の準備 …… 4
脱水する …… 5〜6
洗濯物をすすぐ …… 7
お手入れの仕方 …… 7
故障かな？と思ったら …… 7
保証とアフターサービス …… 8

■安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、間違った扱い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】
△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

●交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

●内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。

●お手入れの際は本体各部に直接水をかけない
ショート・感電の原因になります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

●雷が鳴ったら使わない
落雷の恐れがあります。

●お子さまに触れさせない
脱水槽と本体の間に手を入れたり、上蓋や中蓋に手を挟むと大変危険です。大きな事故につながる場合があります。

●必ずアースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因になります。

⚠ 注意

●放熱を妨げない
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。背面の放熱孔をふさがないようにご注意ください。

●ぐらついた台や傾いた場所に置かない
落下してケガ・故障の原因になります。

●温度が異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

●電源コードをコンセントから抜く
長時間ご使用にならない場合は、安全と節電のために必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●電源は交流100V以外では使用しない
火災、感電の原因となります。

●防水性のシートや衣類は脱水しない
水が抜けないため、脱水中に異常振動を起こし、本体の転倒や損壊でケガをする恐れがあります。

●脱水槽が完全停止するまで手を入れない
手が巻き込まれ、ケガをする恐れがあります。

●お子さまに脱水槽をのぞかせたり、近くに台を置かない
脱水槽と本体の間に手を入れたり、上蓋と中蓋に手を挟んで、ケガをする恐れがあります。

●本体の上にのぼったり、重い物をのせない
変形や破損により、ケガをする恐れがあります。

●脱水時、必ずセーフティキャップを使用する
洗濯物が飛び出し、ケガをする恐れがあります。

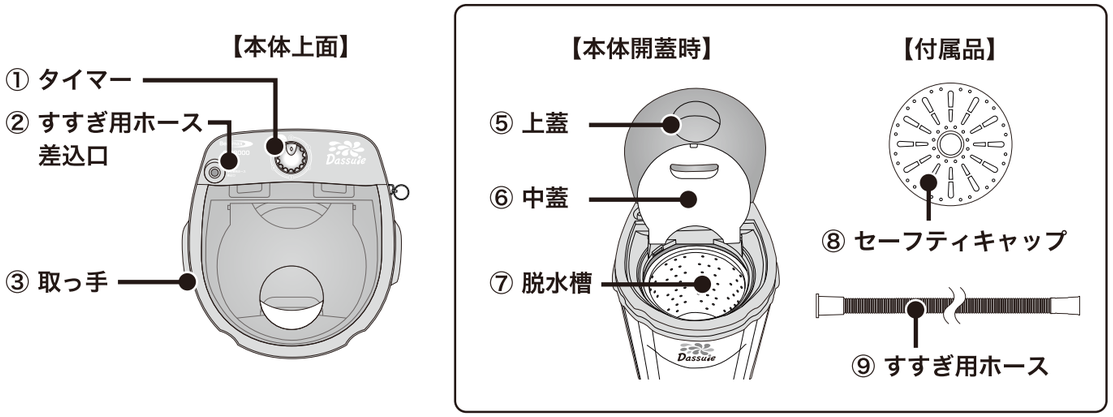
■付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品をお確かめください。

① 本体　② すすぎ用ホース　③ セーフティキャップ　④ 取扱説明書（本書）

※ ② すすぎ用ホース と ③ セーフティキャップ は、脱水槽の中に収納されています。本体の上蓋と中蓋を開けて確認してください。

■各部の名称



■主な仕様

定格入力	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力（最大）	280W
回転数（約）	50Hz：2500rpm　60Hz：3000rpm ※無負荷時
脱水容量	3.5kg
機能	タイマー：0〜5 分 ※時間は目安です。
最大外形寸法（約）	幅：365 × 奥：360 × 高：610mm
質量（約）	7.8kg

脱水槽	内径（約）	200mm
	高さ（約）	250mm
排水ホース長（約）		500mm
すすぎ用ホース長（約）		1040mm
セーフティキャップ直径（約）		214mm
コード長（約）		1520mm
防水規格		IPX4

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ご使用前の準備

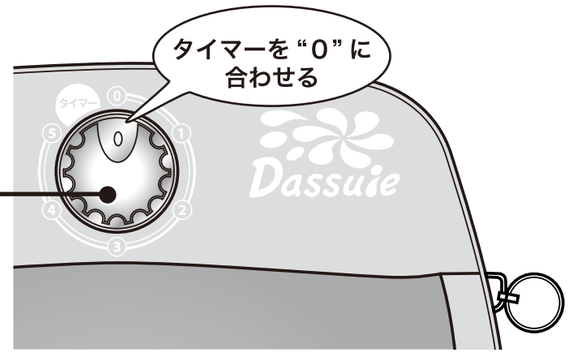
注意１：本製品は、屋内の水平で滑りにくい場所に設置して使用してください。

注意２：本製品を屋外で使用する場合は、屋根のあるベランダ等で使用してください。屋外で使用すると、汚れがやすくなったり、紫外線により本体が劣化する場合があります。

１．本体のタイマーが“０”になっていることを確認してください。

※タイマーが作動している状態で電源プラグを家庭用コンセントに差し込むと、突然動き出す場合があります。

【本体上面】

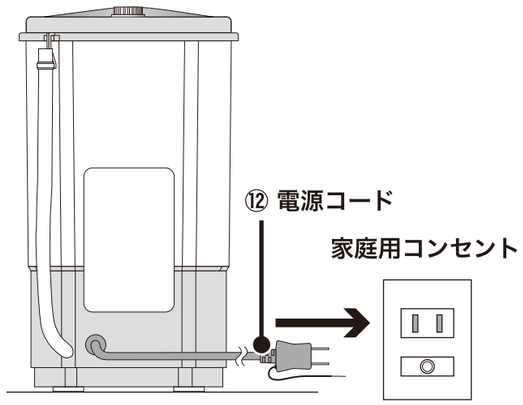


２．本体を水平な場所に置き、電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。

※タイルやフローリングの上など滑りやすい場所で使用すると、起動時または停止時に本体が回転したり動いたりする場合がありますので、ゴムマット等の滑りにくいものを敷いてください。

※必ずアースを取付けて本体を使用してください。

【本体背面】



⚠ 警告

必ずアースを確実に取付ける
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

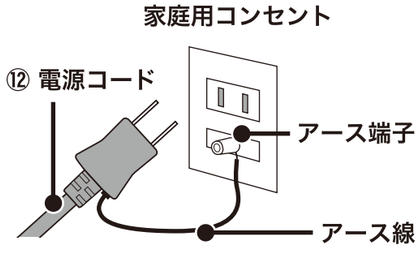
●アース端子がある場合

電源コードのアース線を、アース端子に確実に取付けてください。

●アース端子がない場合

アース工事をお薦めします。アース工事は、最寄りの電気工事店にご相談ください。

※アース線をガス管につなぐと、非常に危険です。



■脱水する

注意１：本体と脱水槽の間に絶対に手を入れないでください。手が挟まり、怪我の原因になります。

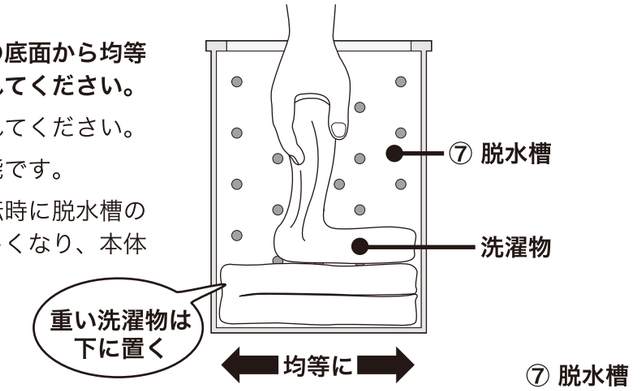
注意２：靴・サンダル類、貴金属や、脱水容量を超える量の衣類は、入れないでください。

１．洗濯物を１枚ずつ伸ばし脱水槽の底面から均等にまんべんなく収まるように入れてください。

※重い洗濯物はなるべく下に入れてください。

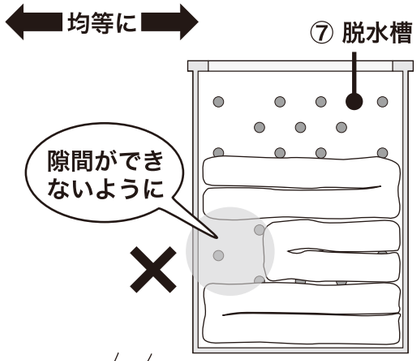
※ネットを使用しての脱水も可能です。

※洗濯物の間に偏りがあると回転時に脱水槽の安定性が悪くなり、揺れが激しくなり、本体が転倒することがあります。



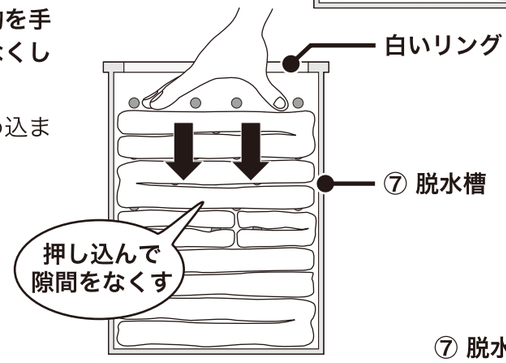
２．洗濯物と洗濯物の間に隙間ができないように、脱水槽に入れてください。

※洗濯物の間に隙間があると回転時に脱水槽の安定性が悪くなり、揺れが激しくなり、本体が転倒することがあります。



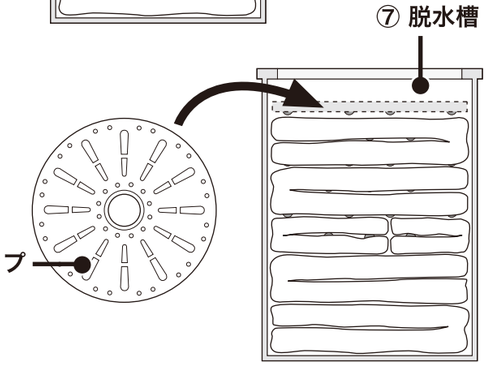
３．洗濯物を全部入れ終わりましたら、洗濯物を手のひらで上から十分に押し込み、隙間をなくしてください。

※一番上の白いリング以上に洗濯物を詰め込まないようにしてください。



４．セーフティキャップを脱水槽の中にある洗濯物の上に置いてください。セーフティキャップを使用することにより洗濯物のずれや飛び出しを防ぎます。

※セーフティキャップは床面に対して水平に正しく置いてください。



注意：本書記載の「洗濯物」とは、濡れた衣服・タオル・シーツ等のことを指します。

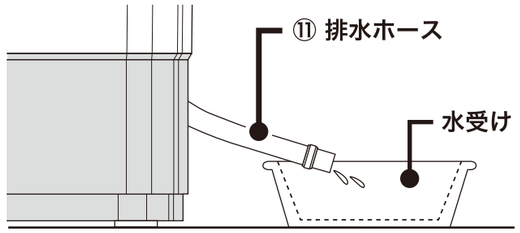
■脱水する（つづき）

5. 排水ホースの排水口に水受け（大きめの洗面器やボウル等）を置いてください。

※運転が始まりますと、排水ホースから、水が出始めます。水があふれないように注意してください。

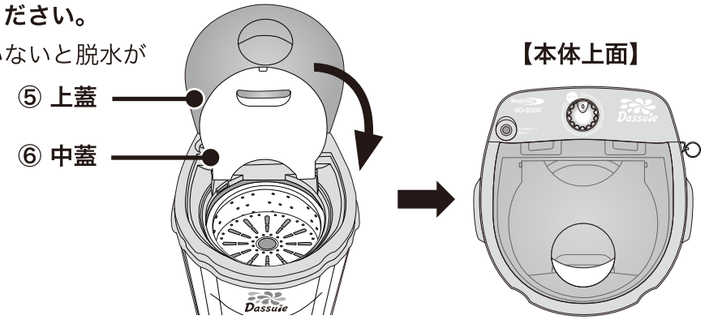
※排水量は脱水する洗濯物の素材や水分量によって異なります。

【本体前面】



6. 本体の中蓋と上蓋を閉めてください。

※上蓋がきちんと閉まっていないと脱水が始まりません。

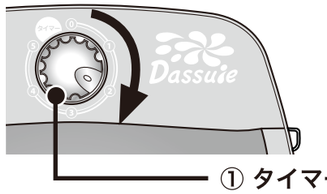


7. タイマーを回して、お好みの時間を選択してください。脱水が始まります。

※脱水中に上蓋を開けると、安全のために回転が停止します。

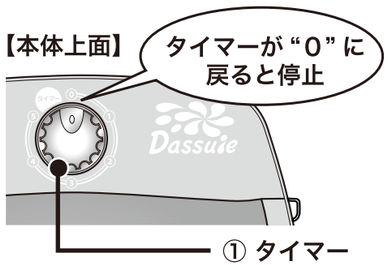
※脱水中に音が大きく揺れが激しい場合、タイマーを“0”にするか、上蓋を開けて脱水槽を止めてください。回転が完全に停止したら洗濯物に隙間ができないように入れ直してください。(P.5 参照)

【本体上面】

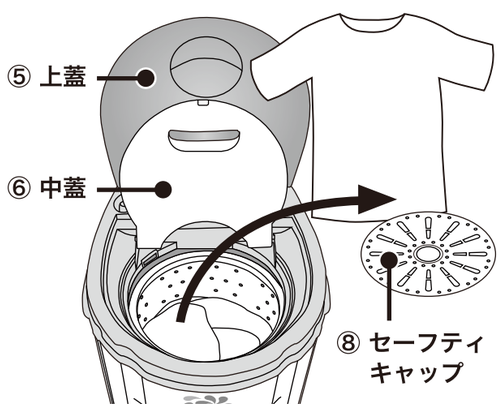


8. タイマーが“0”に戻ると、脱水槽の回転が自動的に停止します。

【本体上面】



9. 脱水槽の回転が完全に停止してから、上蓋と中蓋をあけて洗濯物を取り出してください。



⚠ 注意

- 使用中、本体を傾けたり、倒さないでください。また、本体を故意に揺らさないでください。
- 必ずセーフティキャップを使って脱水してください。
- 脱水槽が完全に停止するまでは、絶対に手を触れないでください。緩い回転でも手を入れると、巻き込まれる危険性があります。
- 洗濯物を取り出す際、脱水槽と本体の間に手を入れないでください。

■洗濯物をすすぐ

※注意：脱水槽に水をためずに使用してください。本体から水が漏れる可能性があります。

1. 排水ホースの排水口に水受け（大きめの洗面器）を置いてください。(P.6 5. 参照)

2. 水道の蛇口と本体のすすぎ用ホース差込口に付属品のすすぎ用ホースを設置してください。

3. 洗濯物を脱水槽に入れてください。
(P.5 1.～4. 参照)

4. 本体の中蓋と上蓋を閉めてください。

5. 水道の蛇口を開けて、すすぎに適当な量の水を注いでください。

※水受けが水で満杯になったら、別の水受けと交換してください。

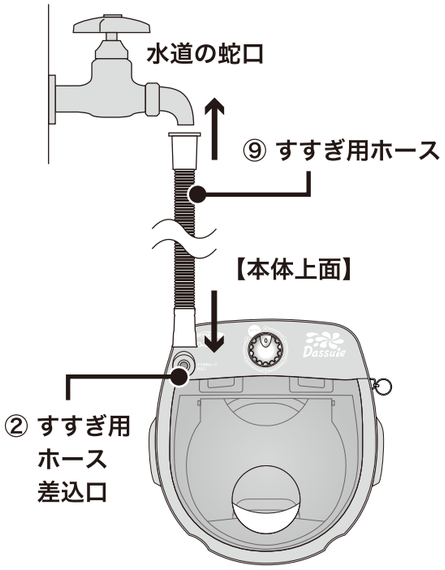
6. タイマーを回して、お好みの時間を選択してください。すすぎが始まります。

※すすぎの最中に上蓋を開けると、安全のために脱水槽の回転が停止します。

7. タイマーが“0”に戻り、脱水槽の回転が停止したら、水道の蛇口を閉めてください。

※脱水を引き続きする場合、P.6 7.～9. を参照してください。

すすぎ用ホースの設置の仕方



■お手入れの仕方

◆本機の使用後は、乾いた柔らかい布で本体、脱水槽を拭いてください。研磨剤や溶剤などは絶対に使用しないでください。

◆本機を保管する場合、乾燥した屋内で保管してください。

■故障かな？と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

症状	対処方法
音がうるさい 振動が大きい 脱水槽が本体の内側にあたる	タイマーを“0”にして洗濯物を取り出してください。洗濯物に隙間が出ないように均等に入れ、手のひらで充分に押し込んでください。(P.5 参照)
本体の運転が開始しない	上蓋をしっかり閉めて、タイマーを回してください。(P.6 参照) ※上蓋がしっかり閉まっていて、本体が動作をしない場合は、ただちに使用を止めてください。家庭用コンセントに差し込んである電源プラグを抜き、発売元に修理を依頼してください。
脱水槽の中に水が残る	脱水が終わっても、脱水槽の下に水が残ることがあります。動作が停止してから、本体を排水口側に傾けて排水してください。
タイマーが“0”の前で止まる	タイマーはぜんまい式です。まれにタイマーが“0”の前で止まることがあります。その場合は、手動で“0”に戻してください。